

フォーラム

2025 年度春季全国大会フォーラム

主 題： 溶接構造物の疲労と対策
日 時： 2025 年 4 月 23 日（水） 13:15～17:15
会 場： 学術総合センター 2 階 第 1 会場（中会議場 3+4）

趣 旨： 疲労現象は鉄道・橋梁・船舶・航空機など様々な構造物で生じており、部材の破断や構造物の崩壊を引き起こす可能性のある劣化現象である。これまで実構造物に生じてきた疲労損傷の発生メカニズムを解明し、これらの疲労損傷を防止するための疲労設計手法の確立が必要となる。そのために、種々作用側・抵抗側因子の疲労き裂発生・進展特性への影響の解明やそれをシミュレーションする技術、疲労強度を推定する技術や疲労寿命を延命化する技術など多面的に疲労損傷を防止するための研究が行われている。
本フォーラムでは、疲労現象およびその対策全体を俯瞰しつつ、疲労強度推定手法と疲労設計手法、疲労き裂進展解析、疲労寿命延命化技術に焦点をあて、基礎的事項から最先端の研究事例を紹介することにより、溶接構造物の疲労損傷防止に向けた課題とその展望を討議する。

座 長： 穴見 健吾（芝浦工業大学）
野瀬 哲郎（日鉄溶接工業㈱）

プログラム：（質疑応答 5 分を含む）

- 13:15～13:20 開会挨拶
- 13:20～13:55 「溶接構造物の疲労と対策（その 1） 疲労現象と事故事例」
大阪大学 大学院工学研究科 船舶海洋工学部門 ○大沢 直樹
- 13:55～14:30 「疲労強度に影響を与える諸因子とその推定手法」
大阪大学 大学院工学研究科 社会基盤工学部門 ○堤 成一郎
- 14:30～15:05 「疲労亀裂進展解析の現状」
九州大学 大学院工学研究院 海洋システム部門 ○後藤 浩二
- 15:05～15:25 休憩
- 15:25～16:00 「疲労設計手法」
（一財）日本海事協会 ○山本 規雄
- 16:00～16:35 「材料面からみた疲労寿命延命化技術」
名古屋大学 大学院工学研究科 土木工学専攻 ○判治 剛
- 16:35～17:10 「溶接後処理による疲労寿命延命化技術」
芝浦工業大学 工学部 土木工学科 ○穴見 健吾
- 17:10～17:15 閉会挨拶